

国から 話題と情報

将来の可能性広げて

市医師会看護学校 ダブルスクール制導入



ダブルスクール制度について澤田校長(左端)の説明を聞く学生ら

弘前市医師会看護専門学校(澤田美彦校長)は放送大学と連携して、専門的なスキルを学びながら大学の学位を取得できる「ダブルスクール制度」を導入している。制度や同大の特徴を知ってもらおう

弘前

と6月24日、同校で説明会が開かれ、参加した准看護学科1年生6人がキャリアアップの重要性、看護専門学校の現状など看護を取り巻く環境について理解を深めた。

(稲葉智絵)

同校は2年間の准看護学科3年間(夜間定時制)の看護学科を設置する専修学校として、地域医療を支える人材を輩出してきた。ただ、医療の高度化、患者ニーズの多様化における准看護師の現状を踏まえ、2015年4月にダブルスクール制度を導入した。制度では、准看護学科1年の10月に放送大学に入学して規定の単位を取得すると、看護学科の卒業と同時に同大を卒業、学士(教養)が授与される。市医師会が大学授業料の半額を補助しており、25年度までに51人が学位を取得し、さまざまな場で活躍している。

説明会では、澤田校長が看護を取り巻く環境について准看護師の養成数減少、

学 生 会 生 専 門 知 識 習 得 に 意 欲

大規模な病院での准看護師の採用募集停止、4年制の看護学校の増加、より専門的な知識が求められる専門看護師や認定看護師のニーズが高まっていることを活用して将来の可能性を広げてほしいと呼び掛けた。学生は働きながら日中や夜間に講義を受け、併せて知識の幅を広げたい」と話した。

華子さん(18)は「救急医療に携わる看護師になる夢に向かって、制度を活用して知識の幅を広げたい」と話した。